

新技術の提案(様式2-1)

NO.

作成日 令和6年10月25日

分野	1. 土木	工種	道路			
技術の名称	地震に強く、遠隔臨場可能な路盤構築技術		NETIS 番号			
			申請中			
副題(商標名等)	アスゾルA・スマートスタビ		登録(申請)年月日			
応募技術条件 チェック	次のいずれかの項目に適合(該当項目の□をチェック下さい)					
	☐ 県内に本社のある建設業者等が開発したもの。					
	☐ 県内に本社のある建設業者等(協会、組合等を含む)が中心となって開発したもの					
	☒ 県内に自社工場のある建設関連企業等が開発したもの(千葉工場 千葉市)					
効 果	右番号から選択 3・4・6	1 コストの縮減	6 施工性の向上	分 類	右番号から選択	
		2 安全性向上	7 その他		1・2・3	
		3 品質の向上	効果を選択した理由を 下記概要や特徴に含めて 記入してください			1 工法
		4 工期の短縮				2 材料
		5 環 境				
					4 情報	
					5 その他	
開発者 (提案者)	会社名	ニチレキ株式会社 千葉営業所				
	住所	千葉市中央区村田町888-4		TEL	043-208-2181	
問合せ先	会社名	ニチレキ株式会社 千葉営業所				
	担当部署	営業				
	氏名	湯本 和也				
	住所	千葉市中央区村田町888-4				
	TEL	043-208-2181		FAX	043-208-2366	
	URL	https://www.nichireki.co.jp/				
	E-mail	yumoto.k@nichireki.jp				
概要	既設上層路盤層(粒度調整碎石等)にアスゾルA(アスファルト乳剤)とセメントをスマートスタビにて同時混合することにより、地震に耐える上層路盤構築技術 ※上記にて構築された舗装は、東日本大震災・能登半島震災において、粒度調整碎石の舗装より被害が少なかった					
特徴	スマートスタビは位置情報、アスファルト乳剤量、混合深さの各施工情報をリアルタイムに取得可能である。また、この情報をモニター画面に表示し、遠隔臨場が可能なため現場オペレーターの業務支援と共に、発注者の現場立ち合い等が軽減される					
施工方法	路上路盤再生工法 表層・基層(アスファルト舗装層)除去→セメント撒布→スマートスタビ混合(セメント・乳剤)→基層・表層					
施工・材料単価(従来との比較)	従来の路上路盤再生工法と同等					
適用条件・範囲	橋梁・コンクリート舗装以外					
施工・使用後の環境への影響	特になし					
施工・使用上の留意点	降雨時の施工は適さない					
実績状況(相手先、件数など)	千葉県 国土交通省、東・中・西日本高速道路、地方自治体、民間					
その他(特許番号、各種適合基準、グリーン購入法、建設技術審査証明書・GISなど)	グリーン購入法					

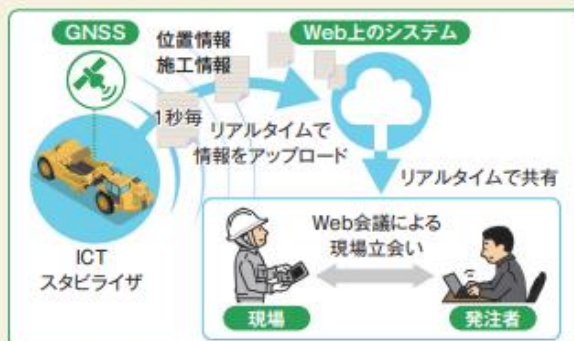
地震に強く、遠隔臨場可能な路盤構築技術

ICT技術による、施工の見える化

スマートスタビライザモニタリングシステムは、路上路盤再生工法の施工時におけるアスファルト乳剤量と混合深さを可視化し、施工状況をリアルタイムに確認できるシステムです。



システム概要



現場では、位置情報、アスファルト乳剤量、混合深さの各施工情報をリアルタイムに取得します。

この情報をモニター画面に表示し、オペレーターと発注者の業務支援を行い、担い手不足、働き方改革などの課題を解決しました。

システム利用効果

① オペレーター支援

オペレーターはモニターにデジタル表示される、1mm単位の混合深さと0.1kg/m²単位のアスファルト乳剤量で機械操作ができます。

これにより、経験の浅いオペレーターでも安全に的確な施工管理を行うことができます。

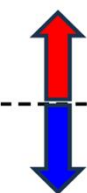
(高い施工精度)

② 発注者支援

発注者は従来、現場で混合深さとアスファルト乳剤使用量の立会い検査が必要でしたが、システムを利用する事により、事務所の自席から現場状況をリアルタイムに確認できるようになります。

(生産性向上)

セメント安定処理: 損傷



セメント・アスファルト
乳剤安定処理: 良好



震災後の
舗装被害